

2026年2月13日

各 位

会 社 名 NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長兼CEO 堀切 智
 (コード番号 9147 東証プライム市場)
 問合せ先責任者 執行役員兼経理部長 亀川 浩一郎
 (TEL03-5801-1000)

減損損失の計上および2025年12月期通期業績予想数値と実績値との差異に関するお知らせ (IFRS)

当社は、2025年12月期の連結決算においてのれんの減損損失を計上するとともに、2025年11月12日に公表した2025年12月期通期連結業績予想数値と本日公表の実績値において差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. のれんの減損損失の計上

のれんに係る資金生成単位グループの回収可能性に関する減損テストにおいて、直近の業績を踏まえた将来キャッシュ・フローの見直しや市場金利の動向に伴う割引率の上昇等を要因とし、主としてロジスティクス事業の欧州セグメントに配分したのれんに関し、約594億円の減損損失を計上しました。

2. 業績予想数値と実績値との差異

2025年12月期通期 連結業績予想数値と実績値との差異

(2025年1月1日～2025年12月31日)

(百万円未満切捨て)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的 1株当たり 当期利益
前回発表予想 (A) (2025年11月12日公表)	百万円 2,580,000	百万円 50,000	百万円 40,000	百万円 10,000	円 銭 40.89
実績値 (B)	2,574,826	51,481	41,768	2,693	10.79
増減額 (B-A)	△ 5,173	1,481	1,768	△ 7,306	
増減率 (%)	△ 0.2	3.0	4.4	△ 73.1	

[差異の理由]

2025年12月期通期連結累計期間において、前回発表予想よりも売上収益は減少したものの、国内事業の収益性改善や物流サポート事業が堅調に推移したこと等により営業利益、税引前利益は増加しました。一方、親会社の所有者に帰属する当期利益においては、のれんの減損損失の増加等により、前回発表予想を下回る結果となりました。

以 上